

研究課題：当院で治療した頭蓋内膿瘍患者の臨床的特徴

1. 研究の目的

頭蓋内膿瘍は急性に進行し重篤な経過を辿る。後遺症を残すリスクも高い重症感染症です。そのため、早期の診断と治療が求められますが、小児では報告が少ないため、治療経験の蓄積が必要です。

小児頭蓋内膿瘍症例の特徴を把握することを目的にして本研究を計画しました。

2. 研究の方法

2014年1月1日～2022年1月31日の間に、当院で頭蓋内膿瘍を治療した患者様が対象となります。

診療録から患者基本情報、臨床情報を調べ、まとめます。

3. 研究期間

2022年3月～2023年4月30日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療力の記載から頭蓋内膿瘍の経過、治療について調べ、まとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：

地方独立行政法人埼玉県立病院機構	埼玉県立小児医療センター
実施責任者：感染免疫・アレルギー科	医長 大西 卓磨
実施分担者：感染免疫・アレルギー科	科長 菅沼 栄介
感染免疫・アレルギー科	医長 川野 豊
感染免疫・アレルギー科	医長 佐藤 智
感染免疫・アレルギー科	医長 上島 洋二
後期研修医	山木 亮一

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年 3月 31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）